

2橋(明石海峡大橋・大鳴門橋)まるごとウォークツアー

本四道路活用イベント実行委員会は、普段は立ち入ることができない明石海峡大橋や大鳴門橋の管理用通路を歩いて渡る「2橋(明石海峡大橋・大鳴門橋)まるごとウォークツアー」を開催する。

【内容】
明石海峡大橋約4kmと大鳴門橋約2kmの管理用通路を一日で歩いて渡る約6kmの海上ウォーク「所要時間：約8時間」

※橋の塔頂は行わない。

【行程】
「橋の科学館」集合・見学
↓明石海峡大橋管理用通路歩行(貸切バスで移動)
↓大鳴門公園(昼食)↓大鳴門橋管理用通路歩行↓道の駅うずしお(貸切バスで移動)↓「橋の科学館」解散

【開催日】
平成27年10月3日(土)、4日(日)

【募集人数】
2日間合計320人(1日160人)

※応募多数の場合は抽選

【参加費】
大人4,000円/人
中学生以下2,000円/人

※集合場所までの交通費、昼食代などは別途負担が必要

【参加条件】
◇小学4年生以上の方(小学生は保護者の同伴が必要)
◇自己責任で6km以上の歩行、ビル7階程度の階段の昇降ができる方

◇高所及び閉所恐怖症でない方
※管理用通路は路面が網目状で、足下は海面が見える状態なので、杖の使用や車イスによる参加はできない。

◇トイレを2時間程度我慢できる方

【募集締切】
平成27年8月26日(水)

※郵送必着

【応募方法】
チラシのハガキや市販のハガキにて。

【応募・問い合わせ先】
〒770-8570徳島市万代町1-1
徳島県県土整備部運輸戦略局高規格道路課内
2橋まるごとウォークツアー受付係
TEL 088-621-2679
(平日9:00~17:00)
兵庫県ホームページ <http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks09/akashikaikyooha-shiyukouriyuu.html>
徳島県ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2015071700320/>

ハイウェイフェスタ とうほく2015

~おかげさまで10年。NEXCO東日本~

NEXCO東日本東北支社は平成27年9月19日・20日、仙台市勾当台公園において、「ハイウェイフェスタとうほく2015」を開催する。

東北6県の高速度道路沿線地域を中心とした各地から、地元の方々が集結し、ご当地に行かなければ体験できない「地域ならではのモノ」を直接PRすることで、来場者に楽しんでもいただくとともに、東北地方の魅力を見せたい。

【開催日時】
平成27年9月19日(土)、20日(日)の2日間
10:00~16:00(雨天決行)

【開催場所】
勾当台公園市民広場・いこのソーン(宮城県仙台市青葉区本町3丁目)

【イベント概要】
◇東北6県ほか郷土芸能「メインステージ」
五所川原立俣武多囃子(青森県)、さんさ踊り(岩手県)、なまはげ太鼓(秋田県)、仙台すめ踊り(宮城県)、花笠(はながさ)踊り(山形県)、フラ&タヒチアンダンス(福島県)
◇参加各県の「ご当地グルメの販売「屋台ブース」
青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県から出店。

◇特別企画「メインステージ」
○19日(土)のみ
・奥州・仙台おもてなしイベント。

道路関係四公団民営化

これまで・これから

平成17年10月、日本道路公団等の道路関係四公団の民営化により、高速道路会社が発足した。道路関係四公団の民営化は、民営化の4年前に遡る平成13年12月の特殊法人等整理合理化計画において、日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団は廃止することとし、四公団に代わる新たな組織及び採算性の確保については、第三者機関において検討すると閣議決定されたことによるものであった。

翌年(平成14年)6月には、内閣府に道路関係四公団民営化推進委員会が設置され、新たな組織及び採算性の確保に関する事項について35回にわたる調査審議がなされ、同年12月、内閣総理大臣に意見書が提出された。

その後、政府・与党協議会、道路関係四公団民営化関係法案の国会審議、道路関係四公団・国土交通省連絡会、資産評価委員会等、様々な委員会等をつ、必要な道路を早期に、かつできる限り、多くの課題もある。

これまで、新たな料金水準・料金割引の導入(区間毎の料金差の是正等)などが実施されてきたところである。

民営化は、①有利子債務の確実な返済、②民間の経営上の判断を取り入れつつ、必要に応じて、必要となる道路を早期に、かつできる限り、多くの課題もある。

「これからは、管理の時代」と言われて久しいが、道路構造物の老朽化が進んでおり、老朽化対策の推進は、極めて重要であり、「最後の警告」とされた平成26年4月の社会資本整備審議会道路分科会の「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」は、記憶に新しいところではないだろうか。

また、高速道路での逆走事故が多発しており、社会問題化している。逆走するドライバーは、高齢者の割合が高く、高速道路会社も大型矢印路面表示や大型方向案内看板の設置等、逆走対策を推進しているところであるが、我が国は、今後も高齢化社会が進むと推計されており、更に大きな問題となるおそれがある。

この10年間、確実な債務返済等、着実に成果をあげてきたところであるが、今回の業務点検結果を踏まえ、今後、更なる安全・安心なサービスの提供、多様なサービスの提供を期待したい。

集団!伊達武将隊」と「山形おきたま・愛の武将隊」によるコラボステージ

○20日(日)のみ
・「食の都庄内」親善大使による料理教室 日本料理研究家 土岐正富 氏(山形県鶴岡市)
・「鬼剣舞」岩手県立北上翔南高等学校鬼剣舞部による公演

第36回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門最優秀賞受賞(文部科学大臣賞)

○両日
・「熊舞」北海道の登別温泉熊舞の会による郷土芸能
※今年は来年3月の北海道新幹線開業に伴い北海道の方々も参加。

国土交通省人事異動

【7月31日付】
▽辞職 本田勝(国土交通事務次官)▽国土交通事務次官 徳山日出男(技監)
▽技監 池内幸司(水管理・国土保全局長)▽水管理・国土保全局長 金尾健司(九州地方整備局長)▽九州地方整備局長 鈴木弘之(九州地方整備局副局長)▽九州地方整備局副局長 石井喜三郎(国土交通審議官)▽国土交通審議官 森重俊也(海事局長)▽国土地理院長 越智繁雄(関東地方整備局長)▽関東地方整備局長 石川雄一(道路局企画課長)▽道路局企画課長 増田博行(東日本高速道路株式会社本社付調査役)▽大臣官房付 尾藤勇(中国地方整備局長)▽中国地方整備局長 丸山隆英(中国地方整備局副局長)▽大臣官房付 縄田正(東北地方整備局長)▽東北地方整備局長 川瀧弘之(観光庁観光地域振興部観光地域振興課長)▽辞職 深澤淳志(道路局長)▽道路局長 森昌文(近畿地方整備局長)▽近畿地方整備局長 山田邦博(大臣官房技術審議官)▽大臣官房技術審議官 池田豊人(道路局環境安全課長)▽道路局環境安全課長 菊地春海(道路局道路交通管理課長)▽道路局道路交通管理課長 上野純一(西日本

平成27年10月27日~28日 第31回日本道路会議開催

~安全で活力ある社会のために~
<http://www.road.or.jp/conference>

《申込・問合先》
公益社団法人 日本道路協会
第31回日本道路会議事務局
〒100-8955
東京都千代田区霞が関3-3-1
TEL 03-3581-2211
E-mail dourokagi@road.or.jp
詳細はホームページで。

日本道路会議は、道路に関する方々にとって、役立つ情報と機会を提供する場である。現場で役立つ情報、設計ノウハウ、先進事例、商談やビジネスにつながる情報が入手できる。関係者各位の参加を。

【主な内容】
《最新情報提供》
最新の技術や社会的ニーズを踏まえた今後の道路あり方などについて、基調講演やパネルディスカッションを通じて議論する。また、海外の最新動向や情報についても紹介する。官民を問わず、道路に関わる関係者にとって、今後の道路のあり方を考える上での有益な情報が得られる。
《実務者の関心が高い話題》
・意見の交換
・実務者が関心を持っている重要なテーマについて、専門家が自治体担当者からの現場が抱える課題・解決例などの話題提供を踏まえ、会議参加者が意見交換・情報交換できる場を提供する。

《専門性の高い研究成果や現場からの報告》
専門性の高い話題について、論文発表を通じて研究成果や現場からの報告を行う。前回に引き続き、討議時間を長めに設定し、座長の進行により議論の活性化を図る「集中討議セッション」を設ける。論文発表は、「計画・環境・安全・情報・マネジメント部門」「道路管理・修繕・更新部門」「建設・施工技術部門」の3つの専門分野から構成される。

【第31回日本道路会議における留意点】
1. 参加申込・論文発表申込はインターネットを利用したオンライン申込を原則とする。

《参加費》
◇個人 3,000円
◇学生 10,000円(一般) 10,000円(当日受付)
◇団体 50,000円以上

《開催概要》
《日程》
平成27年10月27日(火)、28日(水)
《会場》
都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

8月10日は「道の日」

8月10日を「道の日」としているのは、大正9年8月10日にわが国で最初の道路整備についての長期計画である第一次道路改良計画がスタートしたこと等によるものであり、昭和61年度に決められたものです。

私達の生活に欠かすことのできない「道」についてあらためて考えてい

